

## 疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

## 研究課題名

前立腺がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究

## 研究計画

## (1)背景・意義

前立腺がんは欧米に比べて日本では患者数が少ない疾患でしたが近年増加しています。新しい薬剤 や、ロボット支援手術など様々な治療方法が日本でも行う事ができるようになってきました。以前 より患者さんの診断時の年齢や診断後の治療方法が欧米と日本では違うことが知られています。そこで、様々な治療法が選択できるようになった近年の日本の患者さんが、どのような治療を受けておられるのか、その結果どのような治療効果を認めているかなどの実態を把握することは大変重要 要な事です。

## (2)目的

前立腺がんと診断された患者さんの年齢や診断された時点での状態を調査し、どのような病気の状態の時に最初に行われる治療が何か、研究期間中の患者さんの状態がどうだったかをまとめることを目的としています。この研究は、東京大学の赤座 英之先生が理事長をされている特定非営利活動法人(NPO 法人) J-CaP 研究会(日本における前立腺がんの医師主導臨床研究組織)に参加している医療機関から患者さんの情報を収集し、岡山大学で解析を行います。なお、この研究の実施にあたり、アステラス製薬及び武田薬品工業から研究助成のための資金提供 が行われますが、本研究には資金提供のみ行い、データの収集や解析には関与しません。

## (3)方法

平成 28 年 1 月 1 日~平成 30 年 12 月 31 日の間に当院において前立腺がんの治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに診断された時の状態や前立腺がんそのものの性質を示す検査結果 および治療内容のデータを選び、がんの治療に影響する患者さんの状態に関する分析を行い、治療 をどう選択されるか、治療によって患者さんの状態がどう変化したかについて調べます。

## 個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

## 連絡先

東京警察病院泌尿器科 松島 常  
Tel.03-5343-5611(平日 15時-17時)